

新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

|   |                                  |       |            |      |                  |
|---|----------------------------------|-------|------------|------|------------------|
| 事業名   | 一般国道218号<br>(九州横断自動車道延岡線) 矢部清和道路 | 事業区分  | 一般国道       | 事業主体 | 国土交通省<br>九州地方整備局 |
| 起終点   | 熊本県上益城郡山都町城平～熊本県上益城郡山都町大平        | 延長    | 10.3km     |      |                  |
| 事業概要  |                                  |       |            |      |                  |
| 九州横断自動車道延岡線は、熊本県上益城郡御船町を起点とし、宮崎県延岡市に至る計画延長約9.5kmの高規格幹線道路である。当該道路は、熊本県上益城郡山都町城平～大平に至る延長約10.3kmの道路である。  |                                  |       |            |      |                  |
| 事業の目的、必要性   |                                  |       |            |      |                  |
| 本道路は、現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能、救急支援活動における機能確保により、信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援する。また、並行する現道の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、地域産業を支える木材の円滑な輸送を実現するものである。 |                                  |       |            |      |                  |
| 全体事業費   | 約740億円                           | 計画交通量 | 約11,400台/日 |      |                  |
| 事業概要図   |                                  |       |            |      |                  |
|   |                                  |       |            |      |                  |

|           |                      |
|-----------|----------------------|
| 事業採択の前提条件 |                      |
| ・費用対便益    | ：便益が費用を上回っている。       |
| ・手続きの完了   | ：計画段階評価手続き完了（令和4年1月） |

事業評価結果

|         |             |              |   |  |     |   |     |      |  |
|---------|-------------|--------------|---|--|-----|---|-----|------|--|
| 費用対便益分析 | B/C         | 1.3<br>(1.1) | 総費用   | 4,001億円<br>(事業費：3,621億円<br>維持管理費：353億円<br>更新費：26億円)  | 総便益 | 5,255億円<br>(走行時間短縮便益：4,487億円<br>走行経費減少便益：597億円<br>交通事故減少便益：172億円) | 基準年 | 令和3年 |  |
|         | 感度分析の結果     | 交通量変動        | B/C=1.3 (交通量 -10%)                                      | B/C=1.4 (交通量 +10%)   |     |   |     |      |  |
|         |             | 事業費変動        | B/C=1.3 (事業費変動 +10%)                                    | B/C=1.4 (事業費変動 -10%)   |     |   |     |      |  |
|         |             | 事業期間変動       | B/C=1.3 (事業期間変動 +20%)                                   | B/C=1.4 (事業期間変動 -20%)  |     |   |     |      |  |
| 事業の影響   | 評価項目        | 評価           | 根拠  |  |     |   |     |      |  |
|         | 自動車や歩行者への影響 | 渋滞対策         | -   | ・注目すべき影響はない  |     |   |     |      |  |
|         |             | 事故対策         | ◎   | ・現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能が確保され、救急活動においても信頼性の高い道路ネットワークを確保。<br>〔国道218号における土砂災害危険区域の回避〕 【現況】8箇所→【整備後】0箇所<br>〔国道218号における浸水想定区域の回避〕 【現況】6箇所→【整備後】0箇所                                    |     |   |     |      |  |
|         |             | 歩行空間         | -   | ・注目すべき影響はない  |     |   |     |      |  |
|         | 社会全体への影響    | 住民生活         | ◎   | ・山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援。<br>〔山都町役場清和支所～済生会熊本病院の搬送時間〕<br>【現況】60分→【整備後】47分(約13分短縮)   |     |   |     |      |  |
|         |             | 地域経済         | ◎   | ・並行する国道218号の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、円滑な輸送の実現による地域産業の振興を支援。<br>〔輸送経路である国道218号の線形が厳しい箇所〕<br>【現況】25箇所<平面：18箇所、縦断：7箇所>→【整備後】0箇所<br>〔阿蘇森林組合 清和加工所～八代港の輸送時間〕<br>【現況】75分→【整備後】64分(約11分短縮) |     |   |     |      |  |
|         |             | 災害           | -   | ・注目すべき影響はない  |     |   |     |      |  |
|         |             | 環境           | -   | ・注目すべき影響はない  |     |   |     |      |  |
|         |             | 地域社会         | -   | ・注目すべき影響はない  |     |   |     |      |  |
|         | 事業実施環境      | ○            | ・計画段階評価手続き完了（令和4年1月）<br>・熊本県知事より、矢部～蘇陽間の早期事業化の要望を受けている。 |  |     |   |     |      |  |

関係する地方公共団体等の意見

【熊本県知事】  
一般国道218号は、熊本市を起点とし、山都町を經由し、宮崎県延岡市を終点とする路線であり、九州横断自動車道延岡線（高速自動車国道）に並行して、九州中央を横断し、九州の東西の産業、経済、文化等の交流連携を担う幹線道路です。  
また、当路線は第1次緊急輸送道路に指定されるなど、地域住民の生活に不可欠な「命の道」として地域の安全・安心を確保するとともに、産業振興を図るために重要な役割を担っています。  
しかし、当路線の山都町付近には、特に平面・縦断線形不良箇所や土砂災害危険箇所が集中しているうえ、交通事故や冬季の積雪などにより、たびたび交通に支障を来しているなど、脆弱な区間が多く存在している路線でもあります。  
加えて、当該区間は脆弱な地質の発現が想定されており、橋梁や低土被りのトンネルの施工には構造等に関する安定対策の検討など高度な判断・技術力が必要とされます。  
つきましては、令和5年度の開通に向け整備が進められている九州横断自動車道延岡線（山都中島西IC～矢部IC(仮称)）及び一般国道218号蘇陽五ヶ瀬道路に引き続き、当該区間においても、高速自動車国道に並行する自動車専用道路として、直轄事業による実施をお願い申し上げます。  
なお、本県としましては、事業が円滑に推進されるよう、埋蔵文化財調査の体制確保や清和IC(仮称)と国道218号との接続部の交差点改良等について最大限協力いたします。また、町と一体となり、用地取得や付け替え道路（横断ボックス、跨道橋）の集約、地籍調査の推進に向けた地元調整を行うとともに、工事により発生する建設発生土の処分に関する調整等についても積極的に取り組んで参ります。  
一般国道218号（熊本県上益城郡山都町城平～同県上益城郡山都町大平）の国直轄による事業化とともに、九州横断自動車道延岡線の全線整備に向けて切れ目なく事業が推進されるよう、既に計画段階評価が完了している「清和～蘇陽間」についても引き続き直轄調査を実施していただき、早期事業化について検討していただきますようお願い申し上げます。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化は妥当である。

採択の理由

費用便益比が1.3(1.1)と便益が費用を上回っており、また、計画段階評価の手続きを完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。  
矢部清和道路の開通により、現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能、救急支援活動における機能確保により、信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援する。また、並行する現道の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、地域産業を支える木材の円滑な輸送の実現など、事業の必要性・効果は高いものと判断される。  
以上により、本事業は令和4年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
※B/Cの上段の値は嘉島JCT～延岡JCT・ICを対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果

# 新規事業採択時評価結果（令和4年度新規事業箇所）

## 事業評価結果（防災機能）

| 事業の必要性  |   |
|---|---|
| <p>本道路は、現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能、救急支援活動における機能確保により、信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援する。また、並行する現道の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、地域産業を支える木材の円滑な輸送を実現するものである。</p>  |   |
| 評価項目  | 地域の課題   |
| 防災  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道218号は、政府が定める「緊急輸送ルート」に指定されており南海トラフ地震発生時における宮崎県北部、大分県南部地域の想定被災者数約14万人を支援する重要な路線。</li> <li>・当該区間がある山都町は、河川の氾濫や土砂災害等の自然災害が県内で最も多く、土砂災害危険区域、浸水想定区域が集中し、被災リスクの高い脆弱な区間が存在。</li> </ul> |
| 医療  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山都町の救急搬送は管外搬送が約7割を占め、熊本市内の第三次救急医療施設へ搬送。</li> <li>・熊本市内の第三次救急医療施設への搬送に60分以上を要する医療サービスの低い地域にあり、速達性が課題。</li> </ul>   |
| 産業  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県の木材生産額は全国5位、山都町は県内3位の林業素材生産量を誇る地域。</li> <li>・原木は国道218号を利用して山都町から八代港へ輸送し、中国、韓国など海外へ輸出。</li> <li>・輸送経路である国道218号は、道路線形の厳しい箇所が多く存在し、大型車の横転事故が発生するなど、輸送効率が低下しており、走行性に課題。</li> </ul> |
| <p>※熊本県国土強靱化地域計画(R2.3一部改訂)<br/>                 (円滑な避難のための道路整備)<br/>                 ・津波・高潮時、台風や集中豪雨時、道路の浸水や交通渋滞等による逃げ遅れにより、多数の死傷者が発生するおそれがあるため、浸水しにくく、円滑な避難に資する道路の整備が必要である。<br/>                 (救助・救急、物資輸送ルートへの確保に向けた道路整備)<br/>                 ・九州の縦軸・横軸の多重性(リダンダンシー)確保と循環型高速ネットワークのミッシングリンク(高規格道路網等において未整備により途中で途切れている区間)解消を図るため、中九州横断道路、九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路(Ⅱ期)、熊本天草幹線道路等の幹線道路ネットワークの整備を進める。</p> <p>※熊本県国土強靱化地域計画(R2.3一部改訂)<br/>                 (医療活動の支援ルートへの確保に向けた道路整備)<br/>                 ・大規模災害時、道路の寸断や渋滞の発生により医療活動の支援が停滞するおそれがあるため、本県と九州各県を結ぶ幹線道路ネットワークの充実・強化、県内各地域を結ぶ道路網の確保が必要である。<br/>                 ・九州の縦軸・横軸の多重性(リダンダンシー)確保と循環型高速ネットワークのミッシングリンク(高規格道路網等において未整備により途中で途切れている区間)解消を図るため、中九州横断道路、九州中央自動車道、南九州西回り自動車道、有明海沿岸道路(Ⅱ期)、熊本天草幹線道路等の幹線道路ネットワークの整備を進める。</p> <p>※やつしろ物流拠点構想(H29.9)<br/>                 ・八代市内には八代IC、八代南IC、日奈久ICと3か所の高速道路のインターチェンジがあり、九州各方面へのアクセスも容易です。さらに、南九州西回り自動車道(八代JCT～鹿児島市)、九州中央自動車道(嘉島JCT～延岡市)の整備も進められていることから、八代地域の物流拠点としての必要性はますます大きくなるものと考えられます。<br/>                 ・企業の広域的かつ効率的な経済活動を支えるため、南九州西回り自動車道、九州中央自動車道のほか、八代港と高速道路IC、新八代駅等の交通結節点を結ぶ都市計画道路南部幹線等の幹線道路の整備を促進します。</p> |   |

| 事業の有効性  |          |            |                              |                              |                  |                |                |    |
|---|----------|------------|------------------------------|------------------------------|------------------|----------------|----------------|----|
| <p>・当該事業の実施により、脆弱度の評価がCランク→Bランクに改善するとともに、災害時の防災機能が強化される。</p> <p>・また、本事業において、現道の課題箇所を回避し、災害時の代替路機能、救急支援活動における機能確保により、信頼性の高い道路ネットワークを形成するとともに、山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援する。また、並行する現道の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、地域産業を支える木材の円滑な輸送を実現するなど、有効性の高い事業と評価する。</p> |          |            |                              |                              |                  |                |                |    |
| 道路ネットワークの防災機能   | 主な区間     | 改善ペア数      | 脆弱度(防災機能ランク)                 |                              | 累積脆弱度の変化量        | 改善度            |                | 評価 |
|   |          |            | 整備前                          | 整備後                          |                  | 通常時            | 災害時            |    |
|   | 熊本空港 延岡市 | 25<br>[18] | 0.50<br>(C)<br>[0.36<br>(C)] | 0.19<br>(B)<br>[0.35<br>(C)] | ▲284.3<br>[▲4.3] | 0.17<br>[0.03] | 0.39<br>[0.04] | ◎  |

| 事業の効率性                              |
|-------------------------------------|
| <p>・手続きの完了 : 計画段階評価手続き完了 (R4.1)</p> |

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は嘉島JCT～延岡JCT・ICを対象とした場合、  
 下段( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果